

## 設 立 趣 旨 書

### 1 趣 旨

自然環境や生きものに関心があるという緩やかな関係性で「集い」「自由に語らい」「共に活動する」ことができる場というのは、現実の社会では非常に少ないのではないか。同時に、そのような場があれば潜在的な能力や特質を発揮できるに違いない多くの人びとの存在も感じてきた。また、保全保護活動により守られてきた多くの自然環境や生きものは、興味や関心のある人が偶然かかわったため救われたという事例は多い。一方で誰にも気づかれず消えていった貴重な自然は数えきれないだろう。

こうした現状を鑑み、『自然に興味はあるが接し方がわからない』という人びとに身近な自然や生きものに出会うことに関する事業を行い、その楽しさや奥深さを感じてもらうことを通じて“自然を観る眼”を社会一般に普及することで、「自然」意識の変革や向上を目指したいと考えた。

北九州・魚部では自然や生きものだけでなく人間の多様性の豊かさを前提とし、都市部や農山漁村といった地域特性は考慮しつつも限定的ではない、現代的な自然と人のかかわりのあり方を追究する。自然や生きものが好きな誰もが思いを語り、個性や能力を発揮できる場をつくりたい。性別や年代、地域、専門性などを問わずに人が集い、繋がり、情報が集まる。そこで創発された新たな思考をもとに、身近な自然環境や生きものを感じ、知り、学び、考える。その経験を重ねた一人ひとりが広く伝え、あるいは守るための実践者となっていく。自然環境や生きものに関心があるという緩やかな関係性のもとに集う人びとを結びつけ、集まった情報をコーディネートし、人と自然のかかわりを実感する社会の実現に還元することを目的とする。については様々な契約行為が発生するため、法人格の取得が必要となった。しかし我々の活動は営利を目的とするものではないため、会社組織は似つかわしくない。そこで公益を目的とする特定非営利活動法人を設立するに至った。

工業の街北九州発！自然の楽しさ・おもしろさ・不思議さを全国にむけ発信していきたい。

### 2 申請に至るまでの経過

平成 26 年	生きもの好きのためのネットワークづくりを目的とし、任意団体として設立
平成 27 年	雑誌「ぎよぶる」の発行事業を開始 市内および県内において、各団体・公的な施設と連携し、展示・講演・観察会などの市民啓発事業を実施
平成 29 年	この3年間の活動を報告・発表し、第10回いい川・いい川づくりワークショップでグランプリ、日本タウン誌・フリーペーパー大賞 2017 で最高賞の大賞、生物多様性アクション大賞 2017 で最高賞の農林水産大臣賞を受賞
平成 30 年 1 月	検討委員会にて特定非営利法人設立意思決定
平成 30 年 2 月	設立総会開催